

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【公表番号】特表2006-500210(P2006-500210A)

【公表日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-001

【出願番号】特願2004-539234(P2004-539234)

【国際特許分類】

B 09 C 1/02 (2006.01)

B 09 C 1/08 (2006.01)

C 02 F 11/00 (2006.01)

G 21 F 9/06 (2006.01)

【F I】

B 09 B 3/00 3 0 4 K

C 02 F 11/00 Z A B C

G 21 F 9/06 5 6 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月12日(2006.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

未処理の堆積物の自然水分含有量は、カソード域からの排除された炭化水素に富む排出液の抽出およびアノード域からカソード域への水の電気浸透性の流れと一致してアノード域およびカソード域についてそれぞれ69%および88%であるのに対し、97%であった。カソード域の嵩密度は、 $1.47\text{mg}/\text{m}^3$ (湿潤)、 $0.78\text{mg}/\text{m}^3$ (乾燥)、比重2.59と記録された。アノード域の嵩密度は、 $1.49\text{mg}/\text{m}^3$ (湿潤)、 $0.88\text{mg}/\text{m}^3$ (乾燥)、比重2.62と記録された。アノード域とカソード域との間の物理学的特性におけるこれらの差は、本実験の間のアノード域堆積物への鉄分の付加と一致する。アノード堆積物の手羽根剪断強度(hand Vane shear strength)は、カソード域および未処理堆積物の0に対して、 2.45kPa である。このことは、沈降に伴い、電気浸透的脱水化の結果として、アノード域堆積物の工学特性の顕著な改善を示す。